



H30. 3. 23. №1370  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行＝指導部漁業振興課  
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

## 1. 日頃の実践活動の取り組みを発表 ー全国青年女性漁業者交流大会ー

3月1・2日の両日、東京・ホテルグランドアーク半蔵門において第23回全国青年・女性漁業者交流大会が開催され、全国から参加した青年・女性漁業者グループが日頃の研究や活動成果を発表しました。

大会には全国から43のグループが参加し、5つの分科会（①資源管理・資源増殖 ②漁業経営改善 ③流通・消費拡大 ④地域活性化 ⑤多面的機能・環境保全）に分かれ、1日目に発表と討論、2日目は各部門講評、全体意見交換と表彰式のほか浜活性化委員会による交流大会のフォローアップ事業についての報告、第26回全国水産・海洋高校生徒研究発表大会最優秀賞受賞作品の発表が行われました。

本県からは、昨年12月の県漁業者交流大会において県知事賞を受賞した伊豆漁業協同組合南伊豆支所青年部 高野克宏さんが「美しい南伊豆の海を未来へ ～サンゴが息づくヒリゾ浜を紹介したい～」と題して発表を行い、第4分科会（地域活性化部門）において見事に水産庁長官賞を受賞しました。表彰式では、主催者を代表して岸宏 JF 全漁連会長が挨拶され「皆さんの活動成果は、浜プランの取り組みによる成果の延長線上にある。今回の発表を浜に持ち帰り、取り組みを進めて頂く事で、さらに開かれた、元気な漁村になっていくことを期待する。」と述べられました。

## 2. 一都三県キンメダイ資源管理実践漁業者協議会

一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会では2月27日、神奈川県横浜市において約60名が出席して、平成29年度の協議会を開催しました。

冒頭、開会挨拶に立った神奈川県漁連 鶴飼俊行代表理事専務に続き、神奈川県キンメダイ実践推進協議会 加山順一会長が挨拶に立ち「現在キンメダイ資源は厳しい状況になっているが、意見を出し合い、相互理解を進めることにより、資源回復と操業に役立てたい。」と述べられ、続いて水産庁 資源管理部漁業調整課 川村漁業調整官からは「資源を継続して利用し、次世代が安心して操業できるような環境づくりのため建設的な意見が出されるよう期待する。」と挨拶されました。

会議は、神奈川県水産技術センター 企画資源部 武内啓明技師によるキンメダイ資源管理調査の取り纏め結果報告と水産庁 資源管理部管理課 山崎いづみ係長からの、キンメダイ資源管理に関する漁業者代表部会に関する情報提供及び報告の後、静岡県賀茂船主組合連

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

絡協議会の佐藤泰一会長から、昨年10月の三重県への要望活動について報告がありました。その後、次第に沿って協議が行われました。まず、各都県から資源管理の実践状況と水揚情報が報告され、底刺し網対策、まき網対策や近年、各地区で深刻化しているサメ・バラムツによる食害について、活発な意見交換が行われた後、平成30年度の当番県を静岡県とし、閉会しました。

## 3. 平成29年度補正予算競争力強化事業等に関する説明会を開催

本会は、3月9日、県水産会館において各広域再生委員会の実務担当者と関係団体を対象とした平成29年度補正予算の水産関係補助事業等に関する概要説明会を開催しました。

平成29年度補正予算は、12月の閣議決定後、国会審議を経て2月1日成立、水産業競争力強化緊急事業のうち、『水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業』『競争力強化型機器等導入緊急対策事業』の2事業についても継続が決定されました。

今回の説明会は、両事業の各事業主体である漁安協・水漁機構による全国説明会が開催されたことを受けて県漁連 指導部が開催したもので、会議では、特に漁業者の関心が高い『機器等導入事業』と本会がリース事業体を担う『漁船リース事業』を中心に説明を行いました。

両事業については、先に本会が実施した需要調査においても昨年を上回る希望が寄せられおり、前年同様に多くの申請件数が予想されていることなどから、関係先の実務担当者はもとより申請を希望する漁業者自身にも充分事業の主旨を理解してもらうよう周知徹底頂くため、候補者選考に係る実施スケジュールや事業提案書作成時の注意点・変更点など運用に係る重要点が丁寧に説明されました。

説明終了後は、参加者と説明者の間で質疑応答交わされ、実施スケジュールや事業提案書の作成方法、候補者選考基準、また、予想される本県の割当枠などについて活発な質疑応答が行われました。

## 4. 業種別組合総会・総代会を開催

県しらす船曳網漁業組合では、2月6日、熱海市において、平成30年度通常総会を開催し、平成29年度事業報告書、収支決算書及び剰余金処分案承認、平成30年度事業計画及び収支予算書設定、平成30年度賦課金額、賦課徴収方法及び徴収時期を原案どおり可決承認しました。

また、県棒受網鯖釣漁業組合が、2月16日焼津市において、県機船底曳漁業組合が、2月23日伊東市において、県さくらえび漁業組合が、2月27日静岡市、県まき網漁業者協会が、3月2日伊豆の国市においてそれぞれ通常総会を開催しています。

本紙は、県内の漁業振興を目的に（公財）静岡県漁業振興基金の協力により発行する定期刊行物です。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう